

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルホーム伊丹荒牧新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県伊丹市荒牧南3丁目162番、163番の一部、165番の一部	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条地域	平均居住人員	118人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2022年7月14日
敷地面積	1,356㎡	作成者	田中住建(株)
建築面積	683㎡	確認日	2022年7月14日
延床面積	2,402㎡	確認者	田中住建(株)

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>外壁面は道路側より控え開放性の有る外構スペースを設け高さのある構造物を道路側に設けないことで周辺建物と調和する計画とした。</p>	<p>その他</p> <p>自走式駐車場として、省エネを図った。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>住戸内の床をLr-45とし、全般的にF☆☆☆☆建材を使用する。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>住宅性能表示制度の劣化軽減に関する評価が等級3相当住居の階高を2,910mm以上とした。 住居内の通信配線については、仕上げ材を痛めることなく更新・改修ができる。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>まちなみに新たなシンボルを形成 敷地に対し12%の緑地率があり、高・中木をバランス良く配置する。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>住居にガス給湯器を使用する</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>エコマークを取得した、外壁タイルを使用 グリーン調達品の断熱材を使用 有害物質を含まない壁紙用接着剤を使用 ハロン消火器を一切使用していない。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率87% 駐輪場200%、駐車場100%、来客用駐車場2台設置 敷地内にゴミ置場を設け、分別回収を計画する。 外壁の大半をタイル貼りとした。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される